

取扱説明書

DAYTONA corp.

R 69576①/②

- *ご使用する前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
- *この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
- *この商品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

クラッチコンプレッション ツール	適応車種	商品NO.
	2 サイクルD I O系 モンキー系ノーマルクラッチ 2 サイクルJOG系	69576

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ※ この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
---	-------------------------	--	---------------------

⚠注意



実施

- スクーターのクラッチを分解する際には、①クラッチコンプレッションツールにクラッチハウジングがしっかり固定されている事を確認の上、作業してください。
- 取り付けは確実に行ってください。又、走行中にネジ部等が緩む事のないよう、必ず規定トルクで確実に締め付けてください。
- 走行中異常が発生したと思われる場合は、直ちにバイクを安全な場所に停車し、異常箇所を検査してください。
- 各純正部品の取付け、取外しは、車両毎のサービスマニュアルを参照の上作業を行ってください。



その他

- 作業を始める際には、エンジン、マフラー等が充分に冷えている事を確認してから作業してください。
- クラッチハウジング等を床に落とさない様に注意してください。取付けに入る前に必ず安全を確保した上で作業してください。
- クラッチハウジングを固定する際は、締めすぎにご注意ください。締めすぎるとクラッチハウジング、クラッチコンプレッションツールが破損する恐れがあります。
- この商品は、予告なしに仕様を変更する場合があります。又、文中に紹介してあります商品についても、予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。

本商品の特徴

- スクーターのクラッチハウジング、モンキー系ノーマルクラッチ板の分解を補助します。
- スクーターのクラッチを分解する際には、別売のシザーズホルダー〔品番 36469、¥3300（税抜）〕とクラッチナットレンチ〔ヤマハ用：品番 14481、ホンダ用：品番 14482、各¥2500（税抜）〕が必要です。

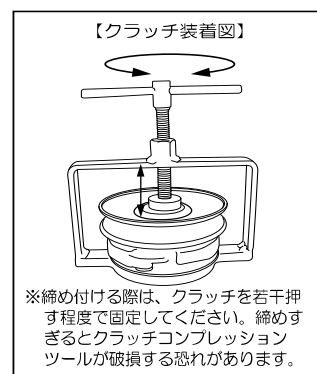
商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	クラッチコンプレッションツール		1	②	ハンドルバー		1

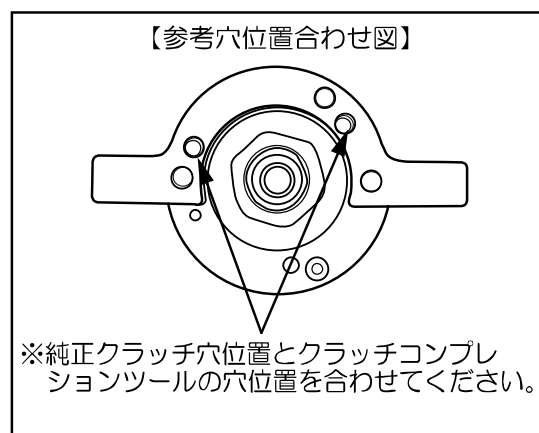
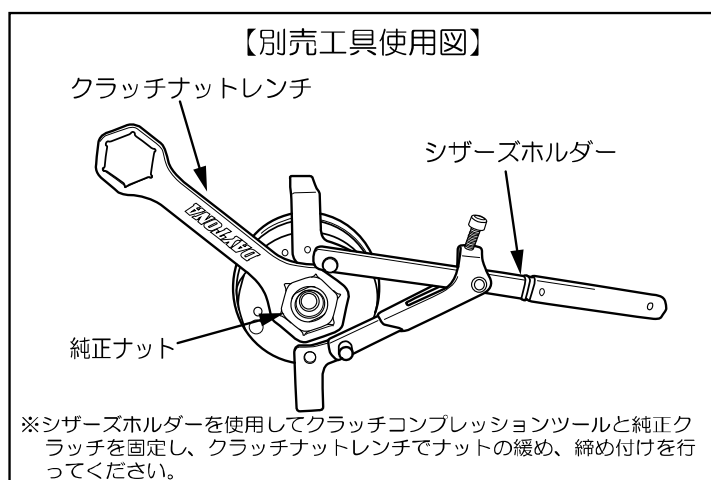
使用方法

1. スクーターのクラッチハウジングのナットを外す場合

(1) 車体より取り外したクラッチハウジングを①クラッチコンプレッションツールと②ハンドルバーを使用して固定します。クラッチハウジングの穴と①クラッチコンプレッションツールの固定用の穴が合う位置を確認して固定してください。



(2) クラッチコンプレッションツールの穴にシザーズホルダーのピンを入れます。クラッチハウジングの穴にしっかりと入っている事を確認してください。



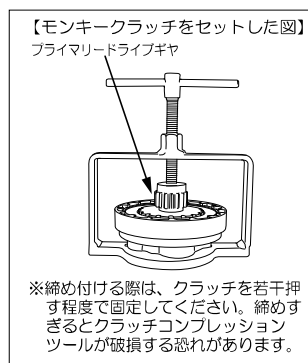
(3) クラッチハウジングのナットをクラッチナットレンチ等を使用して緩めます。ナットを外す際にはセンタースプリングの力が効いていますので注意してください。この時、一人で作業する場合は、万力等で①クラッチコンプレッションツールを固定すると、より作業が楽になります。二人で作業する場合は、本体のナット部をレンチ等で押さえると、より作業が楽になります。②ハンドルバーを使用してクラッチコンプレッションツールのセンターボルトを緩め、クラッチハウジングを取り外して完了となります。

2. スクーターのクラッチハウジングナットを組付ける場合

取り外しと逆の手順で、交換するクラッチシュー、センタースプリング等を組付け、①クラッチコンプレッションツールにセットをし、②ハンドルバーを使用してクラッチコンプレッションツールのセンターボルトを締めて、ナットを締め付けで完了となります。

3. モンキーのセットリングの取り付け、取り外し

クラッチ本体にプライマリードライブギヤを取り付けたまま、②ハンドルバーを使用して①クラッチコンプレッションツールのボルトを締め込み、クラッチ本体を固定し、セットリングを取り外します。
クラッチ板の交換等が済みましたら、取り外しと逆の手順で組付けます。



東証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで